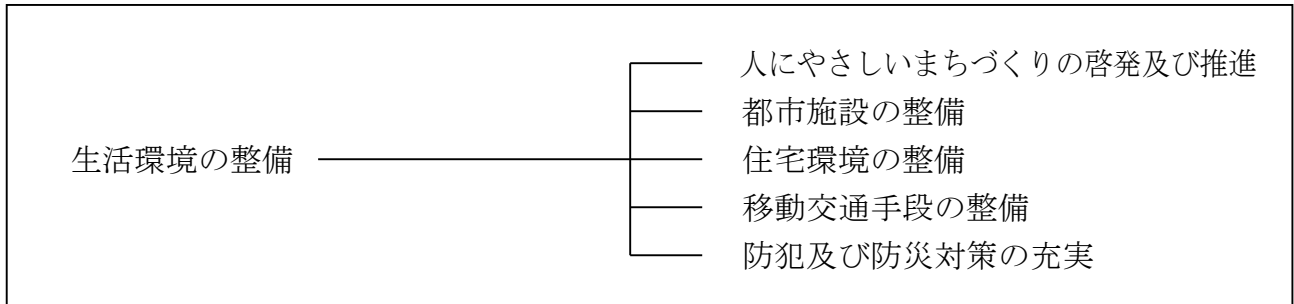


5. 生活環境の整備

障害者の自立と社会参加が可能となる地域社会にしていくためには、建物や道路等におけるバリアフリー化(物理的障壁の除去)に加えて、すべての人が安心して外出できる整備を進める必要があります。本分野では、ソフト、ハードと一体となった施策を推進します。さらに、生活環境の整備を図るとともに、防災対策に係る取組を推進します。



(1) 現状と課題

この分野の主要な課題は、次の5つでした。

- ・人にやさしいまちづくりの啓発及び推進
- ・都市施設の整備
- ・住宅環境の整備
- ・移動交通手段の整備
- ・防犯及び防災対策の充実

1) 現状

①人にやさしいまちづくりの啓発及び推進

- 「名張市共生地域デザイン会議（自立支援協議会）」では、毎年障害及び障害者への理解を深めるための講演会等を実施しています。
- 2016（平成28）年に「名張市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちづくり条例」及び2017（平成29）年に「手話その他コミュニケーション手段に関する施策の推進に関する条例」を制定し、障害者の社会参加に配慮した対応に努めています。
- 当市が開催するイベント等については、関係団体の協力のもと、手話通訳者、要約筆記奉仕員を派遣しています。
- スマートフォンアプリを活用し、利用者と市の設置手話通訳者が、市に配置したタブレット端末の画面を通して手話で対話する聴覚障害者向け「遠隔手話通訳サービス」を2017（平成29）年に試用運転し、2018（平成30）年に開始しています。
- パソコン等を利用しメールで救急車または消防車を要請できる「電子メールによる119番通報（メール119）」、FAXで要請できる「FAXによる119番通

- 報（FAX119）」、また災害等情報を携帯電話のメールで配信する「防災ほっとメール」等を活用し、情報を得にくい障害者に対する体制の整備に努めています。
- 市の福祉窓口到手話通訳の職員を配置するとともに、他の窓口職員の手話の習得によるサービスの向上を目指しています。
 - 市の広報紙等の点字や音訳（録音）を行い、希望者に配布していますが、希望者が少数であるため、広報紙での利用周知を行っています。また、県や専門機関と連携し、音訳や点訳に取り組むボランティアの養成に努めています。

②都市施設の整備

- 本市の公共建築物の整備に際しては、県の「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」に基づき、整備を進めています。

③住宅環境の整備

- 住宅改造に対する支援としては、在宅の障害者及び要介護高齢者がいる低所得世帯が住宅を改造する場合に、日常生活用具として上限20万円の給付を行っています。また、名張市社会福祉協議会では、障害者のいる世帯が改築等をする場合の貸付制度もあります。
- 障害者の市営住宅の入居については、優先的に入居を配慮する世帯として位置づけています。

④移動交通手段の整備

- 重度障害者へのタクシー料金や自動車燃料費の助成、運転免許取得費及び自動車改造費の助成を行っています。
- 市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」や、地域が運行主体となり、公共交通空白地域や公共交通不便地域の解消のために地域コミュニティバスを運行しています。各種運賃は、障害者手帳等の提示による免除があります。また、コミュニティバスの車両更新に当たっては、ノンステップバス車両やバリアフリー基準を満たすバス車両を選定しています。
- 「名張市自転車等放置防止条例」に基づき、市内4駅すべての周辺を「放置禁止区域」に定め、定期的な自転車等の撤去移動により歩行空間の保持に努めています。
- 福祉有償運送等運営協議会では、道路運送法の規定に基づき、福祉有償運送及び過疎地有償運送の適正な運営の確保をもって住民の福祉の向上または交通空白地域の解消を図っています。

⑤防犯及び防災対策の充実

- 2013（平成25）年に、「消費生活者被害防止ネットワーク」を始動し、地域づくり組織や市内関係団体と連携し、市広報やFMラジオ放送、「防災ほっとメール」、年金支給日のATM付近での啓発等に取り組んでいます。また、関係機関と連携して、消費者トラブル等に対する消費生活相談に応じています。

- 「災害時要援護者支援制度」の積極的な啓発に努めます。また、災害時要援護者対策を進める中で、市内にある福祉施設との連携を図り、地域における共助の仕組みを確立させるため、自主防災組織やボランティア等とも連携を図りながら、災害時の支援体制の充実に努めています。
- 各関係機関と連携した防災訓練を実施しています。また、まちの保健室や地域と連携し地域の要援護者を見守る等、日常的な支援活動を行っています。
- 2017（平成29）年、情報を文字で伝えることができるアンブルボード（発光型掲示ボード）を購入し、情報伝達体制の拡充に努めています。
- 市では災害時に医療、物資、応急対策等の支援を受けるための災害協定について、名賀医師会をはじめ、民間企業、他府県の自治体等とも協定を締結しています。

2) 基礎調査結果

①都市施設の整備

・都市環境の整備（公共施設や民間施設の改善整備促進）

- 「名張市内の建物や道路、交通機関等に関して改善や充実に図っていくべき点（複数回答可）」について、一般市民や介護者、中高生に聞いたところ、一般市民では「障害者のための交通手段の充実」が58.3%、「障害者に配慮した道路の整備」が53.2%、「障害者に配慮した公共施設改良」が52.3%となっています。
- 介護者では、「障害者のための交通手段の充実」が46.4%、「障害者に配慮した道路の整備」が29.5%、「障害者に配慮した公共施設改良」が26.2%となっています。
- 中学生では、「障害者に配慮した道路の整備」が76.6%、「障害者に配慮した公共施設改良」が69.0%、「障害者のための交通手段の充実」が61.1%となっています。
- 高校生では、「障害者に配慮した道路の整備」が68.0%、「障害者に配慮した公共施設改良」が64.7%、「障害者のための交通手段の充実」が64.3%となっています。
- どの属性の回答者も「道路整備」「公共施設改良」「交通手段の充実」が高い割合となっています。
- 各属性の回答者による自由記載では、移動交通手段の整備に関し、「歩道整備」「安価な公共交通と路線の充実」のほか、「おもいやり駐車場の増設」などを、また都市施設の整備に関しては、「障害者の社会参加促進のため、道路（歩道）、店舗、公共施設等ハード面の他ソフト面両方進めてほしい」という意見があります。

②住宅環境の整備

・住宅環境の整備（現在の住居や将来の住まいの希望）

- 「現在の住まいについて」障害者本人に聞いたところ、「戸建てやマンションなどの持家」の人は79.7%、「アパートや公営住宅などの借家」の人が5.7%、「グループホームや福祉施設などに入所」の人が4.7%となっています。

- 「今後どのように生活したいか」について聞いたところ、「自宅で家族等と一緒に暮らしたい」と回答した人が47.6%で、約半数を占めています。なお、「特に考えていない」は20.5%、「福祉施設に入りたい」は11.6%、「無回答」が7.8%、「アパートなどで、一人で暮らしたい」「その他」は4.7%、「グループホーム等で共同生活がしたい」は3.1%となっています。

③移動交通手段の整備

・歩行空間の改善整備（生活の中で困っていること）

- 「現在の生活で困っていること（複数回答）」について障害者本人から聞いたところ、「交通手段の確保」と答えた人は16.5%でした。
- 「自身の健康・老化（51.9%）」、「介護者の健康・老化（27.4%）」、「経済的な問題（31.4%）」などの割合は60歳以上の人で多数を占めていますが、「交通手段の確保」は幅広い年代が回答しており、自由記載でも障害者本人、介護者、一般市民それぞれの年代で移動交通手段に対する意見が多数挙がっていることから、ニーズが高いと考えられます。
- 自由記載で障害者本人から「福祉の理想郷を目指す本市が、今後どのようなまちづくりをしていけばよいと思うか」と聞いたところ、「移動交通手段の整備」の内容を回答した人の割合が最も高くなっています。

④防犯及び防災対策の充実

・防犯及び防災体制の強化、緊急時の対応策の充実（災害時の本人の心配事）

- 「災害が発生した時の心配事（複数回答）」を障害者本人に聞いたところ、「安全な所まで避難することができない」が24.3%、「どのような災害が起こったかすぐにわからない」が21.2%、「特にない」が20.8%、「障害者に配慮した避難場所が近くにない」が20.0%、「わからない」が16.7%でした。
- 障害によって傾向があり、身体障害者では「安全なところまで避難できない」等の動作に関する理由、知的障害者では「周りの人とのコミュニケーションが取れない」「必要な情報を入手できない」といったソフト面の理由、精神障害者でも「周りの人とのコミュニケーションが取れない」というソフト面の理由のほか、「必要な治療や薬が確保できない」といった医療的な理由が高い割合となっています。
- 自由記載では、介護者から「外来透析病院が少ないため、災害時対応できないことに対する不安がある」という意見、一般市民から「障害者の自宅付近に避難所を建設する」「障害者が災害時に避難場所に行った際、周りの人達に気を遣ったと聞いたため、災害時の配慮のある市政を望む」との意見がありました。

・防犯及び防災体制の強化、緊急時の対応策の充実（災害時周りの人は何ができるか）

- 一般市民や小中高校生に「災害時に障害者に対してどのようなことができるか（複数回答）」について聞いたところ、いずれも「避難場所への誘導」「安否確認」「相談や話し相手」が他の項目に比べ高い回答でした。

○障害者本人が心配だと感じていることに対して、市民や小中高校生ができると思うことが合致していると受け取ることができます。

3) 課題

この分野では、次の5つを主要な課題とします。

- ・人にやさしいまちづくりの啓発及び推進
- ・都市施設の整備
- ・住宅環境の整備
- ・移動交通手段の整備
- ・防犯及び防災対策の充実

(2) 施策の目標

1) 人にやさしいまちづくりの啓発及び推進

- 違法駐車や放置自転車対策、障害者用駐車場やおもいやり駐車場に健常者が駐車しない等の理解啓発に努めます。
- 障害のある人もない人も地域で安全かつ快適に暮らすための講演やイベント等の啓発及び広報活動に努めます。
- 各種コミュニケーションを図るサービス事業を継続するとともに、「メール119」や「FAX119」「遠隔手話通訳サービス」等の周知に努め、情報を得にくい障害者に対する体制の充実に努めます。
- 職員の手話及び要約筆記の技能取得に努めサービスの向上を目指します。
- 広報紙の音訳や点訳の利用者の拡大に努めるとともに、名張市社会福祉協議会等と連携して、音訳や点訳を行うボランティアの確保、養成に努めます。
- 今後、携帯電話やインターネットなどの情報通信技術が変化しつつある中、それらを活用しながら情報提供の充実に努めます。

2) 都市施設の整備

- 公共施設の整備に関しては、県の「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」に基づき、引き続きバリアフリーに配慮した整備を目指します。

3) 住宅環境の整備

- 障害者の市営住宅の入居については、引き続き、優先入居者の対象として位置づけ、今後、借上げ型公営住宅方式での整備においては、車いす対応の住宅や改修可能な住宅を優先的に選考します。
- 住宅改修を希望する障害者に対して、相談事業を充実させ、経費の補助制度を継続して行います。
- 国が進める「あんしん賃貸支援事業」(障害者等の生活弱者の居住支援)等を活用し、民間賃貸住宅所有者に対して、ハード面・ソフト面の協力が得られるよう啓発に取り組みます。

- 地域において自立した生活を支援できるように、関係機関と連携して多様な住まいの提供に努めます。

4) 移動交通手段の整備

- 重度障害者へのタクシーや自家用車利用に対する経済的支援を引き続き行い、外出手段の確保と社会参加の促進を図ります。
- 路線バスやコミュニティバスについては、障害者手帳等の提示により運賃が免除されることについて周知に努めます。
- 公共交通空白地域や公共交通不便地域の解消のための地域コミュニティバス未導入の地域への導入について検討します。
- 公共交通の利用が困難な障害者等のため、福祉有償運送が充実するよう検討します。

5) 防犯及び防災対策の充実

- 関係機関や地域と連携した「消費生活者被害防止ネットワーク」での広報活動、また、障害者に対する消費者トラブル等による被害を防止するための啓発や情報提供に努めます。
- 医療・ボランティア等の関係機関や各地域の自主防災組織、庁内の関係部署と連携を図りながら、地域における共助・公助の取組をさらに深め、障害の特性に応じた災害時の支援体制の充実に努めます。
- 台風や豪雨など近年の異常気象や、南海トラフ地震などが想定される中、市総合防災訓練や地域での訓練、平常時から必要な備えといった防災講演会や出前トークの実施等、防災・減災に向けた市民の防災意識の向上に努めます。
- 災害発生時の初期救出については、過去の災害の教訓から、障害者の身近な人たちによる救出・救護体制の確立が不可欠です。「災害時要援護者支援制度」の啓発など支援体制の整備等に努め、地域の関係団体や組織と横断的に連携し、災害時における避難誘導、安否確認などの支援体制の充実に努めます。
- 福祉施設との協定等による避難者受入施設（福祉避難所）の充実、福祉避難所の場所について市民への周知に努めるとともに、市指定避難所における障害者に必要な設備や物資の把握に努めるほか、視覚・聴覚障害者等への避難誘導の方法や避難所での対応等のマニュアルを作成するなど、障害者の避難生活が円滑に進むよう緊急時の対策の充実に努めます。
- 市が指定する避難所においては、障害者に限らず特に配慮が必要な場合には、避難所内で、別途、福祉避難室を設置し、対象者を受入対応します。
- 災害時は広報車、市のホームページをはじめとするインターネット、テレビの文字データ放送やスマートフォンアプリ等、様々な媒体を活用・研究しながら、より多くの人に情報が適時、的確に伝達できるよう、防災・防犯情報の配信に努めます。